

多剤投与通知書に係る不具合についてのご報告

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素はひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社提供のレセプト点検自動化システム（以下、「本システム」）において、貴組合からのご申告をもとに事象の調査を行った結果、多剤投与に関する通知機能に一部不具合が発見されました。貴組合には、大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。
以下に具体的な事象と影響範囲、不具合の原因、並びに今後の対応等についてご報告申し上げます。

敬具

記

1. 不具合の事象

令和7年12月提供バージョンにおいて、多剤投与に関する通知書に、本来通知対象者とは関係のない被保険者の受診履歴が出力される不具合が発生しました。

具体的には、条件指定において「残薬を考慮しない」を選択した場合に、多剤投与判定自体は正しく行われているものの、通知書に添付する受診履歴のページにおいて、通知対象者以外の受診履歴が混在して表示される事象が発生していました。

【問題のあった通知書事例】

表示内容は、「診療年月」「医療機関名」「調剤薬局名」「剤数」となっており、個人情報の表記はないものの、抽出対象者とは異なる別の抽出対象者の情報が混在して表示されました。

2. 影響範囲

貴組合において、通知書に誤りがございました。

3. 不具合の原因

12月リリースにおいて、多剤投与の（残薬考慮無し）通知書作成機能への機能改修を行った際のデグレート故障となります。具体的には、多剤投与の（残薬考慮無し）の抽出で出力される通知書の診療履歴において、一部表示項目の欠落があったため、その改修を行った際のミスとなります。

本来であればプログラムのテスト工程にて発見されるべき故障でしたが、テストの視点が、表示項目の欠落が解消されたことに注力しており、その際に不必要な情報まで表示される可能性について、試験項目として考慮できておらず、故障がすり抜けてしまいました。

4. 今後の対応について

プログラムの改修版を 2/18 に送付させていただきます。誠にお手数ではありますが、再度、改修後のプログラムを利用するの再実行と通知書の再送付をお願いいたします。なお、再実行や通知書の再送付含めた被保険者様へのご対応等において、弊社でお手伝いさせていただくことがあれば、何なりとお申しつけください。

重ねてとなりますが、今回、多剤投与通知書の誤りにて、貴組合にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

—以上—